

県高校ハンド

ハンドボールの第2回ユ

ファースト旗争奪兼第53回九州高校選抜大会県予選最終日は15日、県総合運動公園体育館で行われた。男子決勝

の興南は2度にわたる延長戦の末に浦添商業を39-35で破り、8年連続34度目の優勝を果たした。女子決勝の浦添は

那覇西を31-23で制して、2年連続11回目の頂点に立った。男女の優勝、準優勝校は九

州大会（来年2月、鹿児島）の出場権を得た。

【男子】

▽決勝

興南 39 (13-14) 35 浦添商
延長戦 (13-12)
(9-9)

【女子】

▽決勝

浦添 31 (18-10) 23 那覇西

興南 男子 競り勝ちV8

ハイライト

手に汗握る接戦だった。男子・興南は第2延長までもつれる80分の熱戦の末、39-35で浦添商業に勝利して8連覇を決めた。

26-26の同点で迎えた第1延長。興南は、身長191㍉の赤嶺尚太朗が高い打点から振り下ろすシュートや、GKの隙を突くボールを浮かせたシュートなどで得点を重ねて第1延長前半を終えて30-28とリードした。だが、後半5分までに4点を奪われてしまい、再び同点に追い付かれた。

互いに失点を避けたい第2延長は、両チームとも守りの激しさが増した。「赤嶺に対する守りが厚かったため利用した」とセンターの山下双葉。パスをするフェイントで相手守備陣の気持ちを赤嶺に向けさせると、自らシュートを放って34-33と勝ち越した。

その後、勢いに乗ったチームは、相手のパスミスを突いて速攻を仕掛けるなど3連続得点で一気に引き離して勝利を手にした。

主将の高岡晃大は来年2月の九州大会を見据え「県よりも厳しい戦いになると思うが3連覇を狙いたい」と闘志を燃やした。

(國古楓乃)

第2延長で突き放す



男子決勝 興南-浦添商 第2延長前半、興南の高岡晃大（右）が33点目のシュートを決める＝県総合運動公園体育館（竹尾智勇撮影）

女子決勝 浦添-那覇西 前半、浦添の古堅倅慧が14点目のシュートを決める



男子優勝の興南



女子優勝の浦添

浦添、堅守で雪辱V



女子 GK新垣 好セーブ連発

女子・浦添は堅い守備で那覇西を31-23で破り、新人大会の雪辱を果たした。

浦添は前半の序盤から連続得点

で流れをつくると、GKの新垣瑠唯が「那覇西のキーマンの動きは分析していた」と要所で好セーブを連発。ゴール前で敷いたピラミ

ッド型のDFラインで1対1の守備力を発揮するなど、堅守からリズムをつくった。

18-10のリードで始まった後半は連続得点もあり相手を寄せつけなかった。6得点を挙げた右サイドの棚原花倫は「（浦添は）決まったプレーの型がなく、感覚で動

いて突発的なことにも対応するチームで、そこが生きたと振り返った。

うれし涙を見せた主将の大城詩は「守りからの速攻を徹底し、攻撃でのミスを断ち切れる強さを身に付けて、九州で優勝したい」と意気込んだ。